

オンライン申請の申請情報入力に関するお願い（司法書士用）

オンライン申請情報に入力された登記事項は、そのまま登記簿に記録する際に利用しますので、オンライン申請する際は、下記のルールに則って申請情報を入力していただきますよう御協力をお願いいたします。

記

1 空白（スペース）の入力が不要な場合（☒は空白（スペース）を表す。）

(1) 所有者の氏名

例（誤）× 法☒務☒太☒郎（文字間に空白は不要）

（誤）× 法務☒太郎（氏と名の間に空白は不要）

（正）○ 法務太郎

(2) 所有者の住所

例（誤）× 福井市☒春山一丁目1番54号（住所中の空白は不要）

（誤）× 福井市春山一丁目1番54号☒法務マンション301号

（マンション名が入る場合も不要）

（正）○ 福井市春山一丁目1番54号法務マンション301号

(3) 共有者の持分

例（誤）× 持分☒3分の1（持分の後の空白は不要）

（正）○ 持分3分の1

（但し、一人目は持分を入れるが、二人目以降は持分を削除し、3分の2とする）

2 空白（スペース）が必要な場合

(1) 根抵当権の債権の範囲

例（誤）× 銀行取引、小切手債権、手形債権

（正）○ 銀行取引☒小切手債権☒手形債権

(2) 取扱店

例（誤）× （取扱店福井支店）

（正）○ （取扱店☒福井支店）

3 その他の表記

(1) 丁目の表記

例（誤）× 福井市春山1丁目1番54号

（1～10丁目は固有名詞のため、一・二・三～十丁目と表記する）

（正）○ 福井市春山一丁目1番54号

(2) 小数点の表記（利息及び損害金）

例（誤）× 年14、50%（小数点は中点（・）を使用）

（正）○ 年14・50%

(3) 債権額、極度額の表記

例（誤）× 金1,234,560,000円

（億・万の単位を使用し、千を超える場合はカンマ（,）を表記する）

（正）○ 金12億3,456万円

- (4) 共有持分の分母が万の単位より大きい場合の表記
例 (誤) × 持分1, 234, 560, 000分の7, 890
(持分の分母が万の単位より大きい場合は、億、万を入れて表記する
なお、千を超えてもカンマ(,)の表記は不要)
(正) ○ 持分12億3456万分の7890
- (5) 所有者が外国人の場合、氏と名の区切りは涙点(,)で表記する。
例 (誤) × ジョンスミス
(正) ○ ジョン、スミス
- (6) 所有者、抵当権者等の住所について、福井県内は県名を表記しない。
- (7) 政令指定都市及び県名と県庁所在地が同一の場合、県名を表記しない。

4 その他、留意事項

- (1) 共同抵当権等の追加担保の場合の前登記の表示(不動産の所在、地番若しくは家屋番号並びに順位番号)については「その他事項」欄に表記する。
但し、共同担保目録の記号及び番号については「不動産の表示」欄に表記する。
- (2) 共同抵当権等の抹消の登記申請については「不動産の表示」欄に共同担保目録の記号及び番号を表記する。
- (3) 登記名義人が会社又は法人の場合で、商号あるいは名称が変更した場合の登記の目的は、いずれも「何番登記名義人名称変更」と表記する。
本店あるいは事務所が移転した場合の登記の目的は、いずれも「何番登記名義人住所変更」と表記する。